

セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド

運用報告書 第7期

決算日 2013年12月10日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

■お問合せ先

セゾン投信株式会社

〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F

[ホームページ] <http://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

■受益者の皆様へ

地球経済の安定成長軌道に自然体で乗りながら、ゆつたりのおんびり長期投資の旅を進んで行く長距離列車「セゾン号」のセゾン・バンガード・グローバルバランスファンドは、世界全体に投資しつつも日本で沸き起こったアベノミクスの追い風をしっかりと享受して、バランス型ファンドとしては劇的に高いパフォーマンスを得られた一年でした。

当ファンドにおいてその最たる恩恵は、アベノミクス効果による急激な円高修正でありましょう。アベノミクスの政策目的は日本経済のデフレからの脱却であり、とりわけその成果への期待は第一の矢たる金融政策によって示現され、年間を通じた円安進行が当該基準価額をコンスタントに押し上げる原動力となりました。

日本経済が脱デフレを前提とした構造に転換するとすれば、世界全体に分散してお金を働かしている当ファンドにとって、その資産配分がこれからインフレ時代に入る日本では長期的に有効性を高めて行くことを、この一年は先取りして大きく表現したことになります。

今年地球経済のグローバル化による大きな変化がありました。それは21世紀に入って以降、成長の源泉だったBRICSに代表される新興大国が揃って経済停滞期に直面したと同時に、米国が主導しながら日本・ドイツが追随する形で先進国経済が息を吹き返し、世界経済の主役が先進国に再び回帰するという、グレートローテーションとも呼ぶべき大転換です。

グローバル化による成長エンジンを多極的に補完し合いながら、一体的経済成長軌道を安定的に堅持しています。そこをゆつたり捉える当ファンドにとって、心地良い風が吹き始めました。

さて、NISAの開始と共に、グローバルバランス型投信への関心が高まっています。このカテゴリーで当ファンドは、日本を代表するそれへと育てまいました。そして長期保有型ファンドとしての評価も定まって来たことと自負しております。

ようやく皆様に、すくすくと育っている長期投資の果実を実感いただけるようになった「セゾン号」です。乗務員一同感謝申し上げますと共に、第7期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓



セゾン投信

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資対象ファンド組入比率								為替レート		投資証券組入比率	純資産総額	
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン・ ストック	パシフィック・ エクスクラジバン ファンド	エマーゼン マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	ジャパン・ ガバメント・ ボンド	米ドル /円	ユーロ /円			
第3期(2009年12月10日)	円	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	百万円
第3期(2009年12月10日)	7,829	-	16.1	21.2	13.9	4.9	2.6	6.5	20.0	19.8	10.0	88.26	130.14	98.9	25,519	
第4期(2010年12月10日)	7,753	-	△ 1.0	22.5	13.6	4.6	2.7	7.2	19.8	18.1	10.5	83.82	110.92	99.0	32,583	
第5期(2011年12月12日)	7,226	-	△ 6.8	23.0	13.0	4.4	2.7	6.8	19.6	18.9	10.7	77.68	103.77	99.1	37,748	
第6期(2012年12月10日)	8,309	-	15.0	24.4	12.7	3.8	2.7	6.7	20.7	17.9	10.8	82.55	106.56	99.8	50,743	
第7期(2013年12月10日)	11,347	-	36.6	25.0	12.8	4.0	2.4	5.8	21.0	19.4	9.0	103.35	141.96	99.5	68,517	

(注1) 基準価額は1万口当たりです。

(注2) 組入比率は、対純資産比です。騰落率、組入比率は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注3) 為替レート(米ドル/円)(ユーロ/円)は、わが国の対顧客電信売買相場仲値を使用しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上記には市況を併記していません。

■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資対象ファンド組入比率								投資証券組入比率	
	騰落率	騰落率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン・ ストック	パシフィック・ エクスクラジバン ファンド	エマーゼン マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	ジャパン・ ガバメント・ ボンド		
(期首) 2012年12月10日	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2012年12月10日	8,309	-	24.4	12.7	3.8	2.7	6.7	20.7	17.9	10.8	99.8	
12月末	8,776	5.6	24.3	12.7	3.7	2.7	6.7	20.2	18.2	10.2	98.8	
2013年1月1日	9,452	13.8	25.1	13.2	3.8	2.8	6.7	19.8	18.1	9.7	99.2	
2月末	9,455	13.8	25.2	12.6	4.0	2.8	6.6	20.4	17.9	9.7	99.2	
3月末	9,729	17.1	24.7	12.4	4.1	2.8	6.4	20.9	17.8	10.0	99.1	
4月末	10,274	23.6	24.6	12.6	4.3	2.8	6.3	20.7	18.3	9.5	99.2	
5月末	10,630	27.9	25.8	13.0	4.3	2.7	6.3	20.5	18.1	9.0	99.7	
6月末	10,045	20.9	25.1	12.0	4.1	2.6	5.8	21.7	18.3	9.6	99.2	
7月末	10,338	24.4	25.4	12.4	4.2	2.6	5.9	21.0	18.3	9.3	99.1	
8月末	10,218	23.0	24.8	12.4	4.1	2.5	5.7	21.3	18.7	9.4	99.0	
9月末	10,546	26.9	24.8	12.7	4.4	2.7	6.1	20.7	18.5	9.3	99.1	
10月末	10,887	31.0	25.4	13.0	4.2	2.7	6.1	20.4	18.7	9.1	99.6	
11月末	11,304	36.0	25.4	13.1	4.1	2.5	5.8	20.8	19.1	9.0	99.7	
(期末) 2013年12月10日	11,347	36.6	25.0	12.8	4.0	2.4	5.8	21.0	19.4	9.0	99.5	

(注1) 基準価額は1万口当たりです。

(注2) 組入比率は、対純資産比です。騰落率、組入比率は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注3) 騰落率は期首比です。

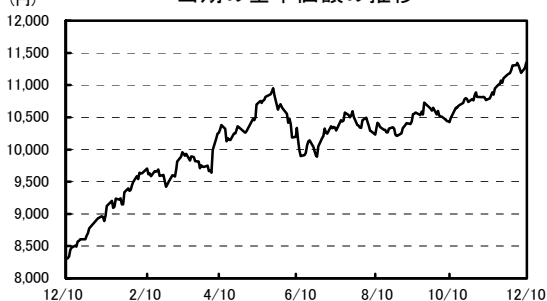
■ 当期の運用状況と今後の運用方針

I : 当期の基準価額の推移と基準価額の変動要因について

当ファンドの第7期(2012年12月11日～2013年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、期初となる2012年12月11日に8,314円の最安値を付け、期末の2013年12月10日に11,347円の最高値を付けました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は+13.47%、当期の騰落率は+36.56%となりました。

(円) 当期の基準価額の推移



基準価額のハイライト

	基準価額	日付
安値	8,314	2012年12月11日
高値	11,347	2013年12月10日

基準価額の変動要因

当期は、為替市場で大幅な円安となったことが、基準価額の上昇要因となりました。また、米国を中心に先進国の株式市場が上昇し、債券市場も底堅い展開となったことから、投資先ファンドも基準価額の上昇要因となりました。

<基準価額のプラス要因>

- ・対ドルでの為替レート(円安)
- ・対ユーロでの為替レート(円安)
- ・U.S. 500ストック・インデックス・ファンド(米ドル)

- ・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円)
- ・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ)
- ・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ)
- ・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)
- ・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円)
- ・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)

<基準価額のマイナス要因>

- ・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル)

II : 当期の市場概況

世界の株式市場の概況

株式市場は先進国を中心に大きく上昇しました。景気回復の勢いは依然として鈍く、企業利益の伸びも力強さを欠くなかで、米連邦準備制度理事会(FRB)が、金融緩和策の規模を縮小する可能性を示唆したことが動揺を誘う局面もあったものの、米国だけでなく欧州や日本でも中央銀行が、金融緩和を長期間継続する姿勢を示したことで安心感が拡がり、上昇しました。

米国では、金融緩和の早期終了への警戒の高まりや、政府の財政支出を巡る与野党の対立による混乱などを受けて軟調に推移する局面もあったものの、雇用環境が力強さを欠くなかで、新しい米連邦準備制度理事会(FRB)議長に雇用を重視するイエレン氏が就任する見通しとなって金融緩和の長期化観測が高まり、上昇しました。

欧州では、景気に底打ち感が見られるなかで、欧州中央銀行(ECB)やイングランド銀行(BOE)が金融緩和を長期化させる姿勢を明確にしたほか、イタリアやスペインの債務問題への警戒が一段と和らいだことで、上昇しました。

日本では、日本銀行が大規模な金融緩和策を打ち出したことを受けて、円安が進行すると共に資産価格が上昇し、企業利益が拡大したほか、デフレからの脱却期待が高まるなど先行きに対する明るい見方が拡がっ

たことを受けて、上昇しました。

アジア太平洋地域や新興国では、中国経済の成長鈍化への警戒が高まったことで資源需要が伸び悩むとの観測が広がったほか、ブラジルやインドなどいくつかの国でインフレ圧力が高まり、金融引き締めが行われたこともあり、軟調な展開となりました。

国債市場の概況

国債市場は、金融緩和の縮小が意識され始めた米国で下落した一方で、金融緩和の長期化観測が高まったユーロ圏と、金融緩和の拡大が打ち出された日本で上昇しました。

米国では、バーナンキ米連邦準備制度理事会(FRB)議長の発言をきっかけに金融緩和の縮小やその先の金融引締めへの警戒が高まり下落する局面もあったものの、雇用環境が力強さを欠くなかで、新しい米連邦準備制度理事会(FRB)議長に雇用を重視するイエレン氏が就任する見通しとなり、金融緩和の長期化観測が高まったことで底堅い展開となりました。

ユーロ圏では、欧州中央銀行(ECB)が5月と11月に利下げを行うと共に低金利を長期にわたり維持する方針を示し、一般的に堅調な展開となるなかで、債務問題への懸念が和らいだことを受けてスペインやイタリア国債が大きく上昇したこともあり、上昇しました。

Ⅲ：組入れファンドと為替レートの動き

バンガード・U.S. 500 ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S. 500 ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率は、+29.14%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。

日本では、日本銀行が国債を大量に購入する大規模な金融緩和策を打ち出した後、市場が不安定な動きとなって国債への投資が敬遠され下落する局面もあったものの、次第に落ち着きを取り戻すと共に安全資産としての国債に対する需要も回復し、上昇しました。

為替市場の概況

為替市場では、先進国経済の先行きに対する見方が新興国と比べて相対的に良好なものとなったことで、先進国通貨が上昇しました。中でもユーロは2度の政策金利の引き下げにも関わらず、ユーロ圏の債務問題への懸念が後退したことなどを背景に大きく上昇し、ドルも米国で金融緩和が縮小に向かうとの見方が強まったこともあって、堅調な展開となりました。

円は日本銀行の大規模な金融緩和策を受けて、新興国通貨を含めたほぼ全ての通貨に対して下落し、対ドル、対ユーロで大幅な円安となりました。



バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+15.62%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+59.89%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+5.94%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+0.13%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、-2.98%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+2.45%でした。

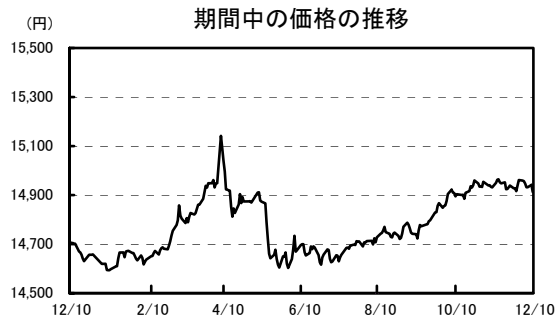
* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率は、+1.38%でした。

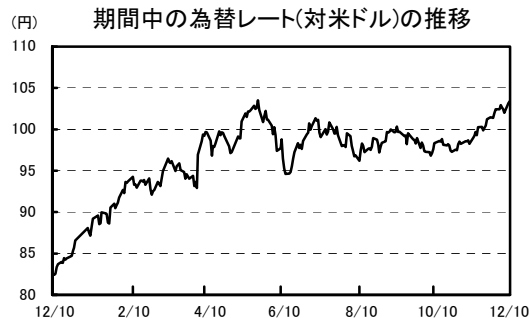
* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは、25.20%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*となりました。

* 当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行なう仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは、33.22%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*となりました。

* 当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行なう仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



Ⅳ：当期の投資スタンス

当期も引き続き主に積立により受益者の皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行いました。ただし、基準価額が上昇したこと等により、受益者の皆様からのご解約が増加した局面においては、定められた比率に従いファンドの解約を行っております。

当期は株式市場の上昇により、株式への投資比率が若干高めに推移しておりましたので、購入は、ほぼ全て債券へ投資するファンドが対象となり、解約は全て株式へ投資するファンドが対象となりました。また、株式市場の上昇により、株式と債券の比率に一定の乖離が生じた局面では、株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行い、株式と債券の比率が50対50に近づくよう、調整致しました。

Ⅴ：今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合は比率の調整を行います。

Ⅵ：分配金について

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

運用部 瀬下 哲雄

■分配原資の内訳（単位：円、1万口当たり、税引前）

	第7期
当期分配金	0
当期の収益	0
当期の収益以外	0
翌期繰越分配対象額	2,861

(注) 当期の収益及び当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

<ご参考>

普通分配金・解約時又は償還時の差益に対する課税について

- ・2013年1月1日から2013年12月31日までは、10.147%(所得税および復興特別所得税7.147%、地方税3%)の税率による源泉徴収が行われます。(法人受益者は7.147%の源泉徴収が行われます。)
- ・なお、軽減税率の適用終了後の2014年以降は、20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、地方税5%)の税率による源泉徴収が行われます。(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金ならびに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltdより提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。

従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltdは当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCI Japan Index、MSCI Europe Index、MSCI Pacific ex-Japan Index、MSCI Emerging Markets Indexに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

Barclays Global Aggregate U. S. Government Float Adjusted Bond Index、Barclays Global Aggregate Euro Government Float Adjusted Bond Index、Barclays Global Aggregate Japan Government Float Adjusted Bond Indexに関する一切の知的財産権その他の一切の権利はパークレイズ・キャピタル社に帰属します。

S&P500に関する著作権等の知的財産権その他の一切の権利は、The Mc Graw-Hill Companies, Inc. に帰属します。

○お知らせ

当期中の約款変更について

2012年12月11日から2013年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下の通りです。

- 2008年12月1日の公益法人制度改革関連法の施行に伴い、当社が加入している社団法人投資信託協会において、一般社団法人への移行認定申請を行政庁に申請しておりましたが、今般、一般社団法人移行の認定を受け、2013年1月4日付けで一般社団法人投資信託協会に名称を変更することとなったため、2013年1月4日付けにて投資信託約款に所要の変更を行いました。(第7条)

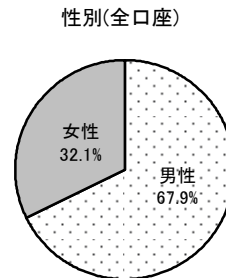
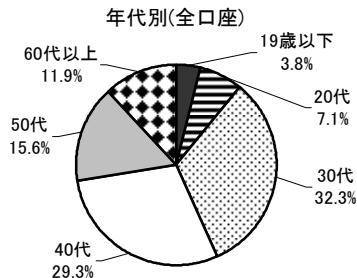
TOPICS : 《社の直接販売の状況 2012年12月11日～2013年12月10日》

2013年12月10日現在 有効口座数 63,147件(前期比17.0%増)

セゾン投信の有効口座数は当期末現在で63,147件となりました。当期間に新たに口座を開設された約2割が「知人・家族からの紹介」を申込みの動機とする方で占めており、お客様の広がり之势いを実感する期間になりました。当期間の増加数は9,170名、有効口座数は前期比17.0%増となりました。

お客様の特徴(全口座)

年代別では30代が32.3%、40代が29.3%と一般的に「資産形成層」と呼ばれる年代のお客様が大きな割合を占めています。当期間では19歳以下と40代の比率が増加し、前期間と同じ傾向が続いています。

ファンドの設定・解約の状況

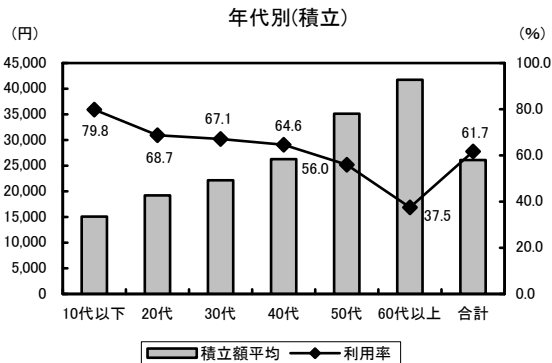
利益を確定するための解約が目立ち、運用を開始して以来、毎月続いていた設定額が解約額を上回る月間資金純増は、当社が運用する両ファンドともに残念ながら当期中途途絶えてしまいましたが、当期間の純流入額は合計+2.0億円(当ファンドは5.9億円の純流出)となりました。

定期積立プラン

積立を地道に実施されてきたお客様の投資収益率が、この一年間で一気に大きなものとなりました。当サービスの利用率は、継続して活用されるお客様が多いこと、新規口座開設と同時にサービスをお申込みになる件数の増加から、前年から+0.3%増加し、61.7%となりました。

※このグラフは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンドともに定期積立サービスをご利用いただいている方を対象とするデータを用いて作成しております。

※全顧客に対する2013年12月4日引落し分の定期積立プランの利用率。積立額は増額月の増額分を含まない平均値。



当社に口座を開設いただいている皆様には改めてこの場を借りて感謝を申し上げますとともに、長期での資産形成に向けた皆様の期待に応え、共に成長を続けられる会社であるために一つ一つのこだわりを大切に引き続き努力してまいります。

■1万口当たりの費用の明細

項 目	第 7 期
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	50円 (27) (18) (4)
(b) 財産維持手数料 (投 資 証 券)	0 (0)
(c) 保管費用等	0
合 計	50

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 財産維持手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 財産維持手数料は、投資対象ファンドの購入・売却時に購入・売却資金より投資対象ファンドに直接支払われます。

(注3) 保管費用等には、監査費用が含まれます。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

■期中の売買及び取引の状況 (2012年12月11日から2013年12月10日まで)

投資証券

		買 付		売 付		
		単 位 数	金 額	単 位 数	金 額	
外 国	ア イ ル ラ ン ド	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口	千円	千口	千円
			0	3,123	20	317
		バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	41	616,246	—	—
		バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			18	304	1,453	25,297
		バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	99	16,757	—	—
		バンガード・パフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	0	10	8	1,748
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	2	331	17	2,835
		バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
			7	108	541	7,550
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	37	6,681	—	—	

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 千単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等 (2012年12月11日から2013年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人は該当ありません。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2012年12月11日から2013年12月10日まで)

該当事項はありません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2012年12月11日から2013年12月10日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建てファンドの明細

2013年12月10日現在

ファンド名	当 期 末			比 率	
	単 位 数 又は口数	評 価 額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド					
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 158	千円 2,741,510	千円 2,741,510	% 4.0	
バンガード・U.S.500 ストック・インデックス・ファンド	千口 8,822	千米ドル 165,948	千円 17,150,784	% 25.0	
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド	78	16,142	1,668,279	2.4	
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	240	38,542	3,983,324	5.8	
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 4,223	千ユーロ 61,619	千円 8,747,542	% 12.8	
小 計	口 数 ・ 金 額	13,523	—	34,291,441	50.0
	銘 柄 数	5	—	—	
債券ファンド					
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 413	千円 6,165,445	千円 6,165,445	% 9.0	
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 831	千米ドル 139,166	千円 14,382,853	% 21.0	
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 522	千ユーロ 93,746	千円 13,308,275	% 19.4	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,767	—	33,856,574	49.4
	銘 柄 数	3	—	—	
合 計	口 数 ・ 金 額	15,290	—	68,148,015	99.5
	銘 柄 数	8	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 千単位未満は切捨てです。

(注3) 比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

(注4) 比率は小数点第2位を四捨五入しています。

(注5) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円貨建て資産を含みます。

■投資信託財産の構成

2013年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 68,148,015	% 98.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	777,990	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	68,926,006	100.0

(注1) 評価額の千円未満は切捨てです。比率は小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末における外貨建資産(68,148,015千円)の投資信託財産総額(68,926,006千円)に対する比率は98.9%です。外貨建資産には外国で投資されている円建資産を含みます。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=103.35円、1ユーロ=141.96円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

当期末 2013年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	68,926,006,538円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	777,990,713
投 資 証 券 (評 価 額)	68,148,015,825
(B) 負 債	408,570,426
未 払 解 約 金	246,930,786
未 払 信 託 報 酬	161,113,332
そ の 他 未 払 費 用	526,308
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	68,517,436,112
元 本	60,383,415,134
次 期 繰 越 損 益 金	8,134,020,978
(D) 受 益 権 総 口 数	60,383,415,134口
1万口当たり基準価額 (C / D)	11,347円

<注記事項：当運用報告書作成時点では監査未了です。>

期首元本	60,743,246,678円
期中追加設定元本額	12,939,856,149円
期中一部解約元本額	13,299,687,693円
1口当たり純資産額	1.1347円

■損益の状況

当期 自2012年12月11日 至2013年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	81,242,544円
受 取 利 息	170,697
そ の 他 収 益 金	81,071,847
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	16,443,865,208
売 益	17,646,449,396
売 買 損 益	△ 1,202,584,188
(C) 信 託 報 酬 等	△ 309,150,436
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	16,215,957,316
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	797,064,242
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,879,000,580
(配 当 等 相 当 額)	266,100,822
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 9,145,101,402
(G) 合 計 (D + E + F)	8,134,020,978
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	8,134,020,978
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,879,000,580
(配 当 等 相 当 額)	266,100,822
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 9,145,101,402
分 配 準 備 積 立 金	17,013,021,558
繰 越 損 益 金	0

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜組入投資対象ファンドの内容＞

以下は当ファンドが投資対象としているバンガード・ファンドの現況です。貸借対照表の資産の部に計上された「投資証券」はこれら外国投資証券です。

現時点で入手できる直近の情報として2013年9月30日現在の内容を記載しており、入手可能な情報を委託会社にて翻訳、抜粋したものです。

- 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率をいいます。
- 株式の業種は世界産業分類基準による分類です。
- 債券の格付情報はムーディーズ、S&P、フィッチ社の格付けを記載しています。
- 単位未満は四捨五入しています。

1. バンガード・U.S. 500ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	APPLE INC	情報技術	2.86
2	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	2.50
3	MICROSOFT CORP	情報技術	1.67
4	GOOGLE INC	情報技術	1.62
5	JOHNSON & JOHNSON	ヘルスケア	1.62
6	GENERAL ELECTRIC CO.	資本財・サービス	1.62
7	CHEVRON CORP	エネルギー	1.55
8	PROCTER & GAMBLE CO	生活必需品	1.37
9	WELLS FRAGO & CO	金融	1.32
10	JPMORGAN CHASE & CO	金融	1.29

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	S&P500 インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	情報技術	17.9	17.9
	金融	16.3	16.3
	ヘルスケア	13.0	13.0
	一般消費財・サービス	12.5	12.5
	資本財・サービス	10.7	10.7
	エネルギー	10.5	10.5
	生活必需品	10.0	10.0
	素材	3.5	3.5
	公益事業	3.2	3.2
	電気通信サービス	2.4	2.4

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.38

2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	NESTLE SA	スイス	生活必需品	2.74
2	HSBC HLDGS	イギリス	金融	2.47
3	ROCHE HLDG AG	スイス	ヘルスケア	2.30
4	NOVARTIS AG	スイス	ヘルスケア	2.14
5	VODAFONE GROUP	イギリス	電気通信サービス	2.07
6	BP	イギリス	エネルギー	1.62
7	GLAXOSMITHKLINE	イギリス	ヘルスケア	1.52
8	TOTAL S.A	フランス	エネルギー	1.51
9	ROYAL DUTCH SHELL	イギリス	エネルギー	1.49
10	SANOFI	フランス	ヘルスケア	1.47

■国・地域別構成比率

資産の種類	国/地域	構成比率 (%)	MSCI Europe ベンチマーク構成比(%)
株式	イギリス	33.1	33.3
	フランス	15.0	15.0
	スイス	13.9	13.8
	ドイツ	13.5	13.3
	スウェーデン	5.0	5.0
	スペイン	4.9	4.9
	オランダ	4.0	4.1
	イタリア	3.3	3.3
	ベルギー	1.8	1.8
	デンマーク	1.7	1.7
	フィンランド	1.4	1.4
	ノルウェー	1.2	1.2
	アイルランド	0.5	0.5
	オーストリア	0.4	0.4
	ポルトガル	0.3	0.3
	ギリシャ	0.1	0.1

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI Europe ベンチマーク構成比(%)
株式	金融	21.4	21.5
	生活必需品	13.8	13.8
	ヘルスケア	12.4	12.4
	資本財・サービス	11.7	11.7
	一般消費財・サービス	10.0	9.9
	エネルギー	9.4	9.4
	素材	8.1	8.1
	電気通信サービス	5.9	5.9
	公益事業	4.0	4.0
	情報技術	3.3	3.3

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.50

3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	一般消費財・サービス	6.51
2	三菱UFJフィナンシャルグループ	金融	3.01
3	ソフトバンク	電気通信サービス	2.44
4	ホンダ	一般消費財・サービス	2.28
5	三井住友フィナンシャルグループ	金融	2.28
6	みずほフィナンシャルグループ	金融	1.85
7	日本たばこ	生活必需品	1.47
8	武田薬品工業	ヘルスケア	1.39
9	三菱地所	金融	1.36
10	キヤノン	情報技術	1.33

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI ジャパン・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	一般消費財・サービス	21.5	21.5
	金融	21.4	21.4
	資本財・サービス	19.6	19.7
	情報技術	9.7	9.7
	素材	6.4	6.4
	生活必需品	6.4	6.3
	ヘルスケア	5.8	5.8
	電気通信サービス	5.2	5.2
	公益事業	2.9	2.9
	エネルギー	1.1	1.1

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.50

4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	BHP BILLITON LTD	オーストラリア	素材	6.72
2	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	オーストラリア	金融	6.91
3	WESTPAC BANKING CORP	オーストラリア	金融	5.95
4	AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANK GROUP	オーストラリア	金融	4.95
5	NATAUSBK COMMON STOCK	オーストラリア	金融	4.71
6	AIA GROUP LTD	香港	金融	3.55
7	WOOLWORTHS LTD	オーストラリア	生活必需品	2.61
8	WESFARMERS	オーストラリア	生活必需品	2.43
9	CSL	オーストラリア	ヘルスケア	1.86
10	HUTCHISON WHAMPOA	香港	資本財・サービス	1.60

■ 国・地域別構成比率

資産の種類	国／地域	構成比率 (%)	MSCI バシフィック エックスジャパン ベンチマーク構成比 (%)
株式	オーストラリア	63.3	63.3
	香港	23.4	23.4
	シンガポール	12.3	12.3
	ニュージーランド	1.0	1.0

■ 業種別構成比率

資産の種類	業 種	構成比率 (%)	MSCI バシフィック エックスジャパン ベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	52.7	52.7
	素材	12.1	12.1
	資本財・サービス	8.6	8.6
	生活必需品	6.4	6.4
	一般消費財・サービス	5.8	5.8
	公益事業	3.9	3.9
	エネルギー	3.8	3.8
	電気通信サービス	3.4	3.4
	ヘルスケア	2.7	2.7
	情報技術	0.6	0.6

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.40

5. バンガード・エマーシング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

■ 組入上位10銘柄

	銘柄名称	国／地域	業種	投資比率 (%)
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO	韓国	情報技術	3.79
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	情報技術	2.26
3	CHINA MOBILE LTD	香港	電気通信サービス	1.82
4	CHINA CONSTRUCTION BANK	香港	金融	1.50
5	TENCENT HLDGS LIMITED	香港	情報技術	1.44
6	GAZPROM OAO	ロシア	エネルギー	1.42
7	INDUSTRIAL & COMMERCIAL BK OF CHINA	香港	金融	1.39
8	NASPAERS	南アフリカ	一般消費財・サービス	0.98
9	CNOOC	香港	エネルギー	1.00
10	AMERICA MOVIL SAB DE CV	メキシコ	電気通信サービス	0.98

※投資比率は未収収益金を含むため、上位10銘柄の順位とは必ずしも一致しません。

■ 国・地域別構成比率

資産の種類	国／地域	構成比率 (%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	中国	19.5	19.4
	韓国	16.0	15.9
	ブラジル	11.7	11.6
	台湾	11.5	11.5
	南アフリカ	7.5	7.5
	ロシア	6.3	6.2
	インド	5.7	5.9
	メキシコ	5.2	5.1
	マレーシア	3.7	3.7
	その他	12.9	13.2

■ 業種別構成比率

資産の種類	業 種	構成比率 (%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	27.0	26.8
	情報技術	15.1	15.3
	エネルギー	11.9	11.8
	素材	9.8	9.8
	一般消費財・サービス	8.9	8.7
	生活必需品	8.8	8.8
	電気通信サービス	7.6	7.6
	資本財・サービス	6.2	6.3
	公益事業	3.2	3.3
	ヘルスケア	1.5	1.6

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.65

6. バンガード・U.S. ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■ 組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.5000	2015/4/30	1.98
2	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.3750	2014/10/31	1.46
3	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.3750	2015/2/28	1.29
4	U.S. TREASURY N/B	国債証券	0.2500	2015/3/31	1.25
5	U.S. TREASURY N/B	国債証券	0.3750	2016/3/15	1.18
6	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.7500	2016/11/30	1.17
7	U.S. TREASURY N/B	国債証券	0.5000	2016/6/15	1.11
8	U.S. TREASURY N/B	国債証券	3.0000	2017/2/28	1.08
9	U.S. TREASURY N/B	国債証券	0.7500	2018/2/28	1.07
10	U.S. TREASURY N/B	国債証券	1.2500	2015/10/31	0.97

■ 残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
5年未満	66.3
5年以上10年以下	23.0
10年超	10.7

■ 格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	99.4
AA	0.1
NR	0.5

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	REPUBLIC OF ITALY	イタリア	国債証券	5.2500	2017/8/01	1.10
2	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.7500	2017/4/25	0.91
3	FRENCH REPUBLIC	フランス	国債証券	3.0000	2015/10/25	0.86
4	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.2500	2021/10/25	0.83
5	FEDERAL REPUBLIC GERMANY	ドイツ	国債証券	4.2500	2018/7/4	0.78
6	FEDERAL REPUBLIC GERMANY	ドイツ	国債証券	3.7500	2015/1/4	0.75
7	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	4.2500	2017/10/25	0.76
8	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.2500	2016/4/25	0.74
9	FEDERAL REPUBLIC GERMANY	ドイツ	国債証券	4.0000	2018/1/4	0.74
10	DEUTSCHLAND REP	ドイツ	国債証券	3.5000	2016/1/4	0.73

■残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
5年未満	44.9
5年以上10年以下	32.5
10年超	22.6

■格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	33.3
AA	30.8
A	1.5
BBB	34.1
NR	0.3

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	第89回分離元本国債 (5年)	国債証券	0.4000	2015/6/20	1.55
2	第113回分離元本国債 (5年)	国債証券	0.3000	2018/6/20	1.47
3	第288回利付国債 (10年)	国債証券	1.7000	2017/9/20	1.38
4	第105回分離元本国債 (5年)	国債証券	0.2000	2017/6/20	1.26
5	第289回利付国債 (10年)	国債証券	1.5000	2017/12/20	1.21
6	第106回分離元本国債 (5年)	国債証券	0.2000	2017/9/20	1.19
7	第312回利付国債 (10年)	国債証券	1.2000	2020/12/20	1.07
8	第330回分離元本国債 (2年)	国債証券	0.2000	2015/7/15	1.00
9	第103回分離元本国債 (5年)	国債証券	0.3000	2017/3/20	0.99
10	第325回分離元本国債 (10年)	国債証券	0.8000	2022/9/20	0.99

■ 残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
5年未満	46.5
5年以上10年以下	31.1
10年超	22.4

■ 格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	1.1
AA	86.9
A	8.2
NR	3.8

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

※上記に記載されている各ファンドの運用管理費率とは、投資対象ファンドごとの平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額を示したものです。

※運用管理費については、バンガード・グループとセゾン投信との個別契約により、記載されている上記運用管理費から割戻しの方法で実質的に低減された料率が適用されております。表記されている運用管理費率は割戻し分を控除しておりません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード・U.S. 500ストック・インデックス・ファンド	→ U.S. 500ストック及びU.S. 500ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ヨーロピアン・ストック及びヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ストック及びジャパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ パシフィック・エクスジャパン・ファンド及びパシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→ エマージング・マーケット・ストック及びエマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ U.S.・ガバメント・ボンド及びU.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ユーロ・ガバメント・ボンド及びユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ガバメント・ボンド及びジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド